

安全運行へ指導を 国交省に要請

東京都の大手私鉄、
京王電鉄で遮断機が下

りていらない踏切を列車
が通過する事例が相次
いだことについて、日

本共産党の笠井亮衆院
議員と東京都議団は8
日、国土交通省から説
明を受け、同省に労働
条件をふくめ安全運行

について指導するよう
求めました。

京王電鉄では昨年5
月から今年8月まで
に、遮断機の下りてい
ない踏切を電車が通過
したケースが5件発生

しています。昨年9月
26日の千歳烏山駅近く
の踏切と、今年6月14日
の中河原駅付近踏切で

27日、回送列車が停車

すべき久我山駅に止ま
らず、完全に遮断して

いない可能性のある踏
切を通過しました。運

転士はTNSを使用し
ていませんでした。

国交省からの説明に
は、笠井議員をはじめ

吉田信夫、清水ひで子、
たやえ民夫の各都議、

金子けんたろう、党杉並
地区青年・雇用対策室

長が出席しました。

笠井議員は、同じ路

線で繰り返し起きてい
ることを突き詰めて検

討することが必要だと

述べ、設備や体制の面

での対策とともに、京王

電鉄の長時間・過密な

勤務状況について、「安

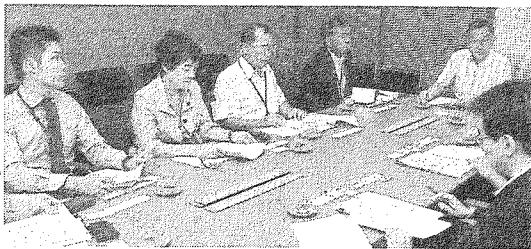
全・安心な運行が可能

な労働条件なのかきち
んどメスを入れていか

なければいけない」
と、国交省に対応を求
めました。同省は、京

王電鉄では「TNS
動作確認」の看板の
駅への設置や連転台へ
の注意喚起ステッカー
張り付けなど対策をと
りましたが、今年7月

王電鉄に警告し、報告
を求めていたことを明
らかにしました。



遮断機下りない踏切通過 京王線多発

京王電鉄列車の遮断機の
下りていない踏切通過問
題で国交省の説明を受け
る笠井議員と都議団=8
日、衆院第2議員会館